



各 位

平成 25 年 7 月 11 日

会 社 名 フリービット株式会社  
(コード番号 3843:東証マザーズ)  
本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号  
代 表 者 代表取締役社長 石田 宏樹  
問 合 せ 先 グループ経営管理本部長 清水 高  
電 話 番 号 03-5459-0522(代表)  
(URL <http://www.freebit.com/>)

## 特別調査委員会の調査結果に基づく再発防止措置について

当社は、平成 25 年 7 月 10 日付けで当社連結子会社である株式会社ベッコアメ・インターネットにおける不適切な会計処理に関し、特別調査委員会から「調査報告書」を受領いたしました。当社は、特別調査委員会の認定した事実と原因分析に基づいた実行すべき再発防止措置の提言を真摯に受け止め下記の再発防止措置を実施してまいります。

株主ならびに投資家の皆様をはじめ関係者の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを改めてお詫び申しあげるとともに、信頼回復に向け、財務報告に関わる内部統制の見直しとコンプライアンス・ガバナンスの強化に努めてまいります。

### 記

#### 1. 財務報告に係る内部統制の改善

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、この度の事態を厳粛に受け止め、特別調査委員会の提言を踏まえて以下の再発防止策を講じてまいります。

- 1) 業務管理が可能な職制への人員派遣  
M&A 等により新規に連結グループの範囲に含まれた関係会社については、企業理念及び業務の統一化を行うべく、管理部門を直接管掌する職制をもった人員を派遣致します。
- 2) 業務協力及び連絡体制の構築  
事業所が離れているなどの物理的な環境が業務協力及び連絡体制の障害とならないようにするべく、必要に応じて人員を派遣し、親会社である当社と子会社との連携体制の強化をはかります。
- 3) 検証体制の確保  
子会社からの業務実績報告の内容に基づく計数管理等を適確に行うため、その計上根拠の説明や資料提出を求めるなど、報告された数値の正確性を検証し確保するための体制を整備いたします。また、検証を可能にするための関連資料や証憑等の作成及び管理についても徹底いたします。

4) 監査深度の柔軟性確保

子会社監査につき一律に企業規模で判断することなく、親会社の監査役、親会社の内部監査室及び子会社の監査役などがそれぞれ相互に協力して、具体的なリスクに即した柔軟な実施運用体制を確保いたします

5) 内部通報制度の周知向上等のグループ内社員のコンプライアンス意識の向上

コンプライアンス研修のさらなる充実及び内部通報制度の周知向上等により、グループ内社員のコンプライアンス意識を向上させ、不適切な行為を行わないよう個々の意識のレベルアップをはかります。

6) 当社グループとしての意識共有の機会確保

当社グループの企業理念や経営方針をグループ各社で共有し浸透させることで、子会社を含めた当社グループ社員の連帯意識の強化をはかり、グループ会社間の枠に捉われない発展を促します。

2. スケジュール

再発防止策のスケジュールは、別紙のとおりといたします。

当社グループでは、常にタイムリーかつ透明性の高い情報開示をポリシーにしております。進捗があり次第、適切な開示を行なってまいります。

以 上



<別紙>

### 再発防止策実施スケジュール

改善作業項目	平成 25 年 7 月	平成 25 年 8 月	平成 25 年 9 月	平成 25 年 10 月
(1)業務管理が可能な職制への人員派遣 管理部門への人員派遣	検討 ■■■■■	実施		
(2)業務協力及び連絡体制の構築 人員派遣	検討 ■■■■■	実施		
連絡体制構築・実施	検討 ■■■■■	実施		
(3)検証体制の確保 計数管理体制の整備	検討 ■■■■■	実施		
計数管理資料等の作成・管理徹底	検討 ■■■■■	実施		
(4)監査深度の柔軟性確保 監査対象の検討・実施	検討 ■■■■■	実施		
(5)内部通報制度の周知向上等のグループ内社員のコンプライアンス意識の向上 内部通報制度の周知	検討 ■■■■■	実施		
(6)当社グループとしての意識共有の機会確保 理念教育の実施	検討 ■■■■■	実施		